

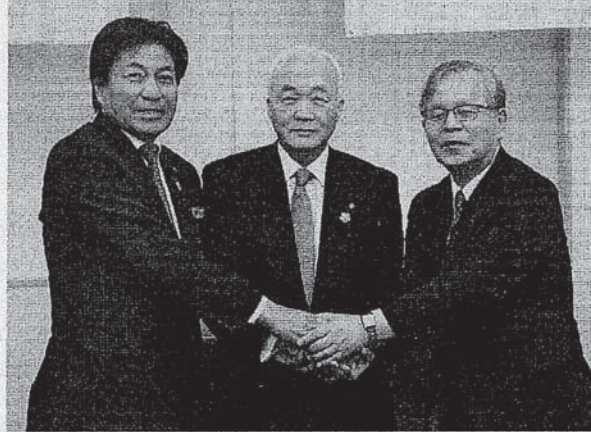
弘前商議所が健康宣言

職員、会員企業へ啓発活動

弘前商工会議所(清藤哲夫会頭)は27日、短命県返上に向けた健康増進の取り組みを推進しようと「健康宣言」を行った。新年度から会員事業所向けのセミナー開催や健康診断の実施、事務局職員の健康意識向上などに取り組む。

同日は清藤会頭が「商工会議所が健康情報発信基地となり、会員企業などの健康経営を推奨する」など、宣言。立会人として出席した弘前大学の中路重之特任教授が「短命県

返上に向け、職場での取り組みにしてほしい」と取り組みは残された課題の一つ。実のある取組と期待を込めた。会員向けにはセミナー



「やチラシなどによる啓発のほか、市のひろさき健やか企業認定制度の活用を推進。事務局職員向けとしては、血圧測定や記録管理、健康診断の全員受診、がん検診受診の勧奨などに取り組み、健康意識の向上を図っていく。

(齊藤雅也)

健康宣言を行った清藤会頭(中央)と担当する会員サービス委員会の下山清司委員長(左)。中路教授の指導を受けながら健康増進の取り組みを進める